

令和6年度野洲市総合計画・総合戦略評価委員会 議事要旨

●日 時

令和6年8月1日（木） 14:00～17:30

●場 所

野洲市役所本館2階 庁議室

●出席委員（委員区分ごとに50音順で記載）

1号委員：上田 洋平委員、大田 直史委員

2号委員：飯田 幸弘委員、川端 文代委員、田中 清三郎委員、林 かずみ委員、
松村 都子委員、

3号委員：森 陽子委員

4号委員：熊本 正幸委員

●事務局

布施政策調整部長、小池政策調整部次長、
（企画調整課）玉川課長、中野課長補佐、田中主査

○会議概要

1. 開会

2. 挨拶

3. 委員紹介

4. 議事

（1）委員長・副委員長の選出について

…委員長に大田委員、副委員長に上田委員を選出し、承認。

（2）第2次野洲市総合計画・総合戦略施策評価 令和5年度施策評価について

…第2次総合計画に基づく24施策及び、総合戦略に基づく2事業について評価を行った。委員からの主な意見は次ページの通り。

5. 閉会

○評価結果

全施策の評価結果については、別添「第2次野洲市総合計画・総合戦略 令和5年度施策評価結果一覧」のとおり。

○評価委員の主な意見・質問 及び 評価結果

※頁は、当日資料4「第2次野洲市総合計画・総合戦略 令和5年度施策評価」に基づく。
 (意見シート)と記載しているものは、評価委委員会後に提出されたもの。

頁	施策	委員からの主な意見・質問 及び 評価結果
4	1-1 子育て支援 の充実	<p>【委員】成果指標『児童虐待終結件数/児童虐待件数』について、割合となっているため児童虐待件数のボリューム感やどの期間の数値か分かりにくいと思った。 →(会議後)施策シートの根拠・出典欄にデータを追記。</p> <p>【委員】未就学児の待機児童数を減らすために、今後、どのように保育士等の人材確保を図っていくのか。また、目標に向けて、具体的な対策が必要ではないか。 →【事務局】野洲市保育人材バンク事業を中心に人材確保に向けて取り組んでいるが、全国的にも保育士が不足しており、午前中や夕方のスポットだけでも採用できるよう努めているところである。</p> <p>【委員(意見シート)】野洲市保育人材バンク事業で61名の新規採用を行ったとあるが、退職者も一定数いることから、全体で人材が不足している状況と推察される。退職される原因を分析し、対策を練るとともに、保育士の人材確保に向けて様々な方法で取り組んでいただきたい。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
5	1-2 青少年の健全育成	<p>【委員】成果指標『地域子ども教室の参加人数』について、実績値を述べ人数で数えられているが、活動の広がりを展開させるには、新規参加者を集めるための取り組みが重要であると思う。</p> <p>【委員】成果指標『地域子ども教室の参加人数』について、目標を設定する以前から減少傾向となっていたなか、5,020人という高い目標を設定されており、コロナ禍以降、基準値からも大幅に減少している。シートの記載内容からは、今後、目標に向けてどのような取り組みを行っていくのか分かりにくい。</p> <p>【委員】成果指標『地域子ども教室の参加人数』について、進捗度【a】とする理由は。 →【事務局】コロナ禍により開催自体ができていなかった教室を令和4年度以降、教室を開催できる体制に戻すことができ、参加者も回復傾向にあることから【a】と判断している。</p> <p>【委員】主要事業『子どもの居場所づくりの推進』について、記載されている取組内容では、進捗度【a】とする理由が分かりにくい。 →(会議後)取組内容の加筆修正を行った。</p>

		<p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
6	1-3 学校教育の 充実	<p>【委員】主要事業『学力向上推進事業』について、取組方針が「確かな学力定着・向上」としているにもかかわらず、取組内容及び課題の記載内容がプール施設や水泳授業のことが大半を占めることに違和感がある。</p> <p>→【事務局】施策シートには記載していないが、総合計画本文の取組方針では、学力向上に関する事項に加えて、豊かな心と健康な体を育むことも含めており、その内容に則して記載しているものである。</p> <p>→【委員】全国的にコロナ渦でプールの授業が確保できなかったこともあり、泳げない子どもたちが増えている中、市の取り組みとして特徴的なことなので、取組内容としては相応しいと思う。</p> <p>【委員】主要事業『地域に開かれた学校事業』の課題・改善点について、記載内容がよく分からない。各学校と学校運営協議会の関係についてのみの内容に思われるが、コミュニティ・スクールの運営には、地域の関係者とも課題を共有し、どう改善していくかが重要であると考えられる。</p> <p>→（会議後）内容を分かりやすくなるよう、加筆修正を行った。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
7	1-4 学校教育の 充実	<p>【委員】生涯学習出前講座について、開催可能な日程のほとんどが、平日の昼間に限られており、参加可能な年齢層も限られる。生涯学習を推進していくには、様々な年代に参加してもらえるよう、開催日程やテーマに柔軟性を持たすべきではないか。</p> <p>【委員】施設の維持管理のためには必要な措置かもしれないが、今年度から公共施設利用料の減免適用の見直しを実施された。この状況下で、社会教育関係団体の活動の活発化を推進していくために、どのような支援が必要か検討していく必要があると思う。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
8	1-5 人権の尊重 と多文化共 生社会の実 現	<p>【委員】人権尊重をめざす市民のつどいについて、前半に子どもの人権作品の表彰および発表があり、後半に人権に関する講演が実施されるが、子どもの保護者の大半は前半の表彰式が終わると退席されている。新規の参加者も重要であるが、途中退席される人数を把握すると共に、講演も最後まで聞いていただけるよ</p>

		<p>うな工夫が必要ではないか。</p> <p>【委員】人権学習は、幼少期から実施し、自主的に参加を促すような仕組みづくりが重要である。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
9	2-1 健康づくりの推進と地域医療体制の整備	<p>【委員】成果指標について、主に国民健康保険加入者に対する特定健診受診を対象としたものとなっており、市民全体の健康づくりに広がるような取り組みや指標が必要ではないか。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
10	2-2 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	<p>【委員】近年では、高齢者が高齢者の介護を行う老老介護の傾向になってきている。介護が必要な高齢者だけではなく、その支え手に対する支援や育成も重要ではないか。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
11	2-3 障がい児・者福祉の充実	<p>【委員】『グループホーム数』や『指定特定相談支援事業者数』のように、施設数や事業者数が指標となっているが、需要に応じた定員数や支援内容を充実させることが重要であり、単純な数だけでは、評価を行なうことが難しいのではないか。</p> <p>【委員】療育施設の利用に至るまでには様々な理由があると考えられ、その状況に応じた支援を行なう必要がある。母子保健で把握している児童数に対して、何人がどのような理由で療育が必要となったか、また、療育から園・学校への登校にどのようにつながったか、それぞれを分析し、適切な支援を行なっていくことが重要であると思う。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
12	2-4 地域福祉の推進	<p>【委員】タウンミーティングは単に話し合いだけではなく、次の展開につなげていくことを意識すること、そして、その担い手となるようなリーダーの育成も含めて実施していくことを検討いただきたい。</p>

		<p>【委員長】地方自治法の改正により、市の条例で、福祉分野に限らず地域の共同活動に資する団体を、市長が「指定地域共同活動団体」として指定することができるようになる見込みである。当該団体には、事務の委託や、行政財産を貸し付けることが可能となることもあり、地域団体の活動の広がりが期待できる。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
13	2-5 生活困窮者等への支援の充実	<p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
14	2-6 消費者行政・防犯対策の充実	<p>【委員】犯罪発生率について、発生場所や種類等のデータを抑止のために利用しているのか。 →【事務局】守山警察署と、どのような場所でどのような犯罪が発生しているかデータを共有しており、未然防止のためのパトロール等に活用している。</p> <p>【委員】消費者被害に関して、どうしても他人事の様になってしまうことから、公表可能な身近な事例については、広報誌等で発信し、未然防止に努めていくことが重要であると思う。</p> <p>【委員】インターネットや SNS が普及するなか、特殊詐欺も増えてきており、遭遇した際の対応方法や、身近な相談場所として消費生活センターがあることを継続的に啓発していくことが重要であると思う。</p> <p>【委員】成果指標『消費生活相談窓口数』の目標値は、全国的な基準に基づくものか。 →【事務局】全国統一のものではなく、総合計画策定時に、市独自で定めた目標である。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
15	3-1 商工業の振興	<p>【委員（意見シート）】成果指標『創業塾受講者数』に関して、目標は達成しているが、実際に創業者数の増加に寄与しているのか、また、雇用の創出につながっているのか検証する必要があるのではないか。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>

16	3-2 農林水産業 の振興	<p>【副委員長】「環境保全型農業直接支払交付金」取組面積については、単に取扱面積を拡大させるだけではなく、流通につなげるような取り組みを合わせて行なう必要から、目標を達成させることは難しいが、野洲市は世界農業遺産に認定された「魚のゆりかご水田」があるまちであり、今後の展開に期待したい。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に疑義なく、取りまとめ時点の評価と同様、【A】とする。</p>
17	3-3 地域資源を 生かした観 光の振興	<p>【委員】成果指標『観光入込客数』の達成について、目標値の設定以降に大型施設がオープンしたことが主な理由であり、それを除いた数値を上げるような取り組みが重要であると考えられる。</p> <p>【委員】近隣他市のホームページでは、市の魅力や観光情報が充実しているが、野洲市では観光物産協会へのリンクのみで十分に発信しているとは言えないのではないか。また、市の魅力を高めることや、観光情報の発信を行なうために、地域おこし協力隊のような新しい発想を持つ外部の人員を活用することも検討してはどうか。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
18	3-4 歴史文化遺 産の保全・ 活用	<p>【委員（意見シート）】成果指標『歴史民俗博物館入館者数』について、昨年度比で千名近く減少しており、目標からも乖離していることから、具体的な改善策が必要であると思う。</p> <p>【委員】成果指標『歴史民俗博物館入館者数』について、目標を達成するには博物館単独の発信だけでは難しいと考えられるため、周囲の豊かな自然環境や他の観光資源を活用し、歴史と自然を楽しむようなモデルコースや企画を推進してはどうか。</p> <p>【委員】主要事業『永原御殿跡保存整備事業』の事業費が他と比べても大きいので、土地所有者だけではなく、市民に広く情報発信をしていく必要があるのではないか。また、整備費に見合うだけの活用方法を、今後、検討していくべきである。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>

19	4-1 均衡ある土地利用の推進	<p>【委員（意見シート）】成果指標『活用した空き家数 ※危険空家解体補助件数』について、実績値としては0戸が続いており、目標から乖離していることもあって、進捗度【b】とする理由が必要ではないか。 →（会議後）進捗度の理由を追記した。</p> <p>【委員】市街化区域の拡大を行うにあたり、具体的な面積や期日に係る目標はあるのか。 →【事務局】市街化区域の拡大を想定している区域については、総合計画内の土地利用構想図に掲載しているが、具体的な面積目標はない。土地利用の転換については、公表するタイミングによって、地権者をはじめ様々な方面に影響を与えることから、慎重な配慮のもと、計画的に進めている。</p> <p>【委員】市街化区域拡大を目指す理由は。 →【事務局】野洲市は高い交通利便性等により、住宅需要や事業用地の需要があるが、近隣他市と比べて市街化区域が狭小であることもあり、需要に対して必要な用地を拠出できる余地が小さいため、市街化区域の拡大を目指すものである。</p> <p>【委員】農業との関わりもあり、難しいことではあるが、旧野洲町と旧中主町で差が出ないよう、均衡ある土地利用の推進・開発を期待したい。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
20	4-2 自然環境・美しい景観の保全	<p>【委員】市内にある公園については、県有地・国有地に関わらず、市民が活用しやすくなるような取り組みを進めることが重要であると思う。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
21	4-3 生活環境の保全と上下水道サービスの安定供給	<p>【委員（一部意見シート）】成果指標『水道水の有収率』について、有収率の全国平均は90%程度の水準となっており、また、南海トラフ地震などの大規模な地震が生じた際には、老朽配水管が破損するおそれがあることから、災害時におけるライフラインを守るための対策として、老朽配水管の更新をより進めていくために、目標値の見直しを検討してはどうか。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>

22	4-4 防災・減災 対策の強化	<p>【委員】雨水排水対策については、市街地だけではなく、農家集落についても着目し、取り組んでいただきたい。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
23	4-5 道路ネット ワークの整 備と交通安 全の推進	<p>【委員（意見シート）】成果指標『通勤時間帯における渋滞発生路線の数』について、基準値から実績値が変わっておらず、進捗度【b】とする理由が必要であると思う。 →（会議後）進捗度の理由を追記した。</p> <p>【委員（意見シート）】成果指標『交通事故発生件数』について、目標値から乖離があり、進捗度【b】とする理由が必要であると思う。 →（会議後）進捗度の理由を追記した。</p> <p>【委員】生活道路には傷んでいる場所もあると思われるが、道路整備計画の対象に生活道路は含めていないのか。 →細かい生活道路までは道路整備計画には含めていないが、自治会からも要望をいただき、課題として認識していることから、優先順位を定めて補修等を進めていきたいと考えている。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>
24	4-6 公共交通の 利便性の向 上	<p>【委員】高齢ドライバーの運転免許証の返納率が高まっており、その状況を踏まえて、公共交通の利便性向上に向けて施策の展開を進めていただきたい。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
25	5-1 市民活動・ 自治会活動 の推進	<p>【委員】市民活動団体の位置づけを明確にし、それぞれの分類に応じて支援していくべきではないか。</p> <p>【委員】市民活動団体の担い手・後継者が不足しているため、若い世代のメンバーの加入を促進するような仕組みづくりを検討いただきたい。</p> <p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【A】とする。</p>
26	5-2 市民との情 報共有の推 進	<p>【結果】成果指標・主要実績の各進捗度に変更なく、内部評価と同様、【B】とする。</p>

27	5-3 効果的・効率的な行財政運営	<p>【委員】職員提案制度が活用されていないことに理由があるのか。</p> <p>→【事務局】職員が「個人」単位で提案することにはハードルが高く、現状では十分に活用できていない。ただ、「課」単位で提案できる政策提案制度を導入しており、こちらは活用が進んでいる。</p> <p>→【副委員長】提案が改善につながるような経験や実績がないと、提案しても無駄だと諦めてしまうようになるので、組織内で提案しやすい土壌を築いていくことが重要である。</p> <p>【結果】成果指標・主要事業の各進捗度に変更なく、取りまとめ時点の評価と同様、【B】とする。</p>
29	総合戦略 (健康でエコなマイクロツーム推進プロジェクト)	<p>【結果】取りまとめ時点の評価と同様、【A】とする。</p>
30	総合戦略 (企業版ふるさと納税)	<p>【結果】取りまとめ時点の評価と同様、【B】とする。</p>

○その他（評価方法等に関する意見を抜粋）

- 利用者人数で設定している成果指標について、その多くをカウントが容易な延べ人で評価しており、純粋な利用者数で評価すべきではないか。
- 各施策に対する目標と効果を整理し、整合性のある指標を設定すべきではないか。
- 成果指標の進捗度の評価方法について、一定の理由があつて実績が一時的に下がった場合、その理由を織り込んだ上で、数字のみで客観的に評価する方法と、一時的な理由を除いて評価する方法がある。今後は、どちらかの方法に統一して評価すべきではないか。（例：施設利用人数に係る指標において、改修工事のため休館していた場合の評価等）
- （意見シート）次年度の評価では、補足的にでも当委員会の意見を汲んだ数値等をできる範囲で記載してはどうか。
- （意見シート）各分野の施策評価の間だけでも、担当部署に同席してもらうことはできないか。
- （意見シート）後期計画に向けた指標を検討するにあたっては、コロナの影響をいかに評価し、今後に活かすかという議論も必要ではないか。
- （意見シート）開催時間を最初から3時間程度にするようにしてはどうか。
- （意見シート）市政・まちづくりの根幹に関わる大切な計画なので粗略な評価をするわけにはいかないが、施策を1つずつ評価するのではなく、分野ごとに評価することを検討してはどうか。
- （意見シート）委員に対して評価の対象、内容を十分に説明した上で、委員会開催前に各委員がそれぞれ評価シートによる評価を行っていただき、委員会当日はその結果を共有して評価してはどうか。
- （意見シート）事前に各委員が評価シートを提出する場合、総合計画で策定された取組方針や主要事業ごとの達成状況が分かるような内容にしていきたい。